

御意見と御意見に対する考え方

| 御意見の概要 | 御意見に対する考え方 |
|---|---|
| 土壌溶出量調査に係るふっ素の測定方法について、前処理として水蒸気蒸留法を行うとした場合、塩化物イオン及びナトリウムイオンの影響が大きくなる可能性があるため、実際の試料を分析していればそのデータ等についてお示しください。 | 土壌中の塩化物イオン及びナトリウムイオン濃度が高い場合としては、海水の影響を受けている場合が考えられますが、このような場合であっても土壌溶出量試験を行うにあたり御意見のような影響は起こらないものと考えています。 |
| 土壌含有量調査に係る砒素の測定方法について、スペクトル干渉を補正及び低減する手法で補正及び低減できることを確認したデータ、又は、現行の K0102 の水素化物発生法との分析値の相関等のデータがあればお示しください。 | 『平成18年度環境省請負調査「水質分析法（公定分析法）検討調査報告書」（財）日本環境衛生センター（平成19年3月）』の「4 砒素及びセレン」において検討しているのでご参照ください。 |